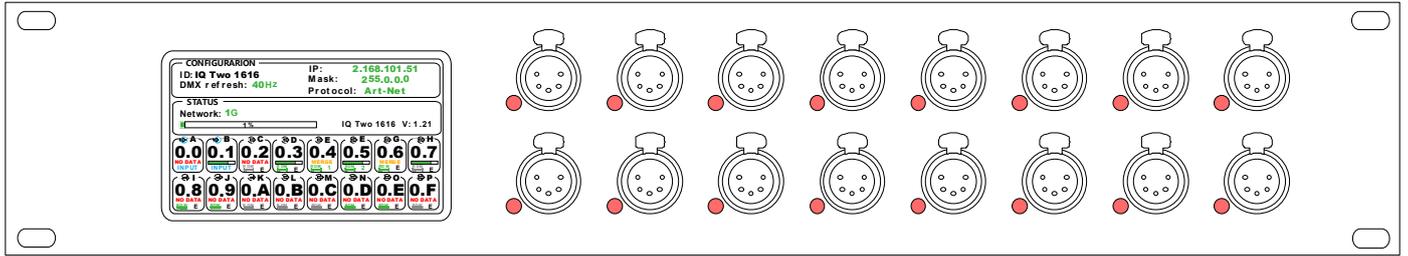


概要

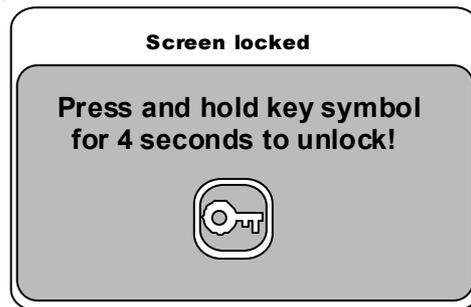


LQ Two 1616 はフロントパネルのタッチパネルを使用するか、PC の Web ブラウザーもしくはマネージメントソフトの Proplex Software を使用して設定の変更を行います。

デバイスがアクティブになるとメイン・ステータス画面が表示され、ノードに関するすべての重要な情報が表示されます。

各 DMX ポートはアイソレーションされています。

フロントの LCD スクリーンをタッチすると、“Screen locked”のサブウインドウが立ち上がるので、キーマークを 4 秒間押し続けると画面のロックが外れて操作ができるようになります。

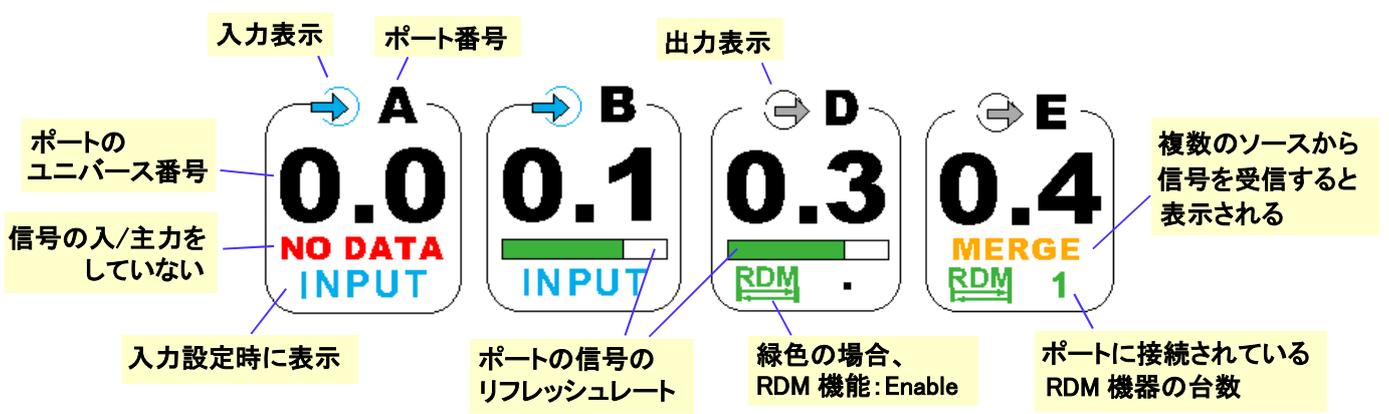
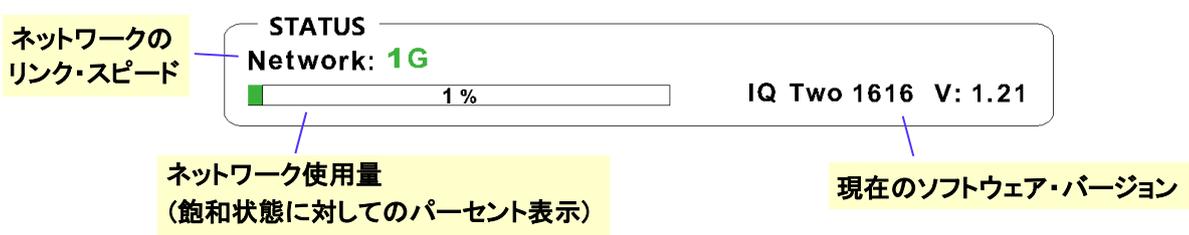
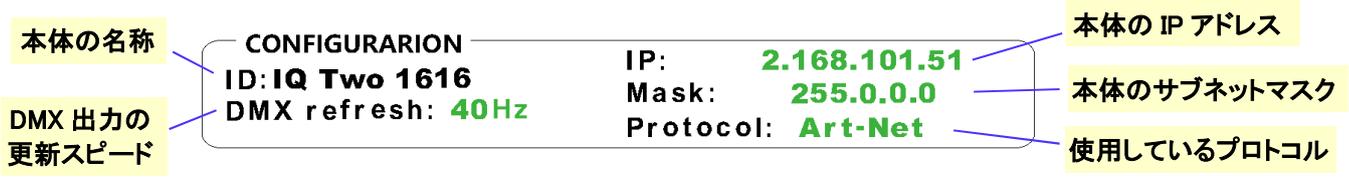
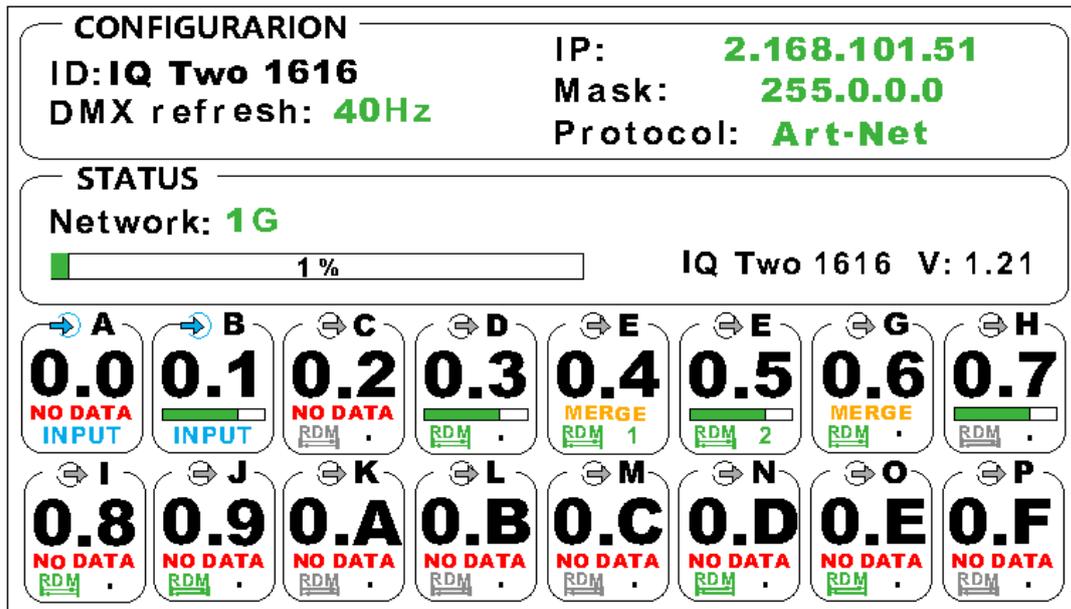


各ポートの LED 表示

各ポートの LED の表示でそのポートの状態を表示します。

- ・ 赤 : 受信しているネットワークからの DMX 信号の受信がない状態
- ・ オレンジ(全灯) : ポートは DMX 出力設定になっており、信号を出力している状態
- ・ オレンジ(暗い) : ポートは DMX 出力設定になっているが、信号は出力していない状態
- ・ 青(全灯) : ポートは DMX 入力設定になっており、信号を受信している状態
- ・ 青(暗い) : ポートは DMX 入力設定になっているが、信号を受信していない状態
- ・ 緑(断続的) : ポートが RDM 信号を出力している状態

メイン・ステータス画面



マージの動作について

複数のソースから、同一ユニバース番号のポートに受信した場合、マージ動作をします。

本機には”Easy priority”機能があり、ON にすると 512ch 目のレベル値の高い信号を入力/出力します。

Art-Net

”Easy Priority”が OFF の場合は HTP マージします。

sACN

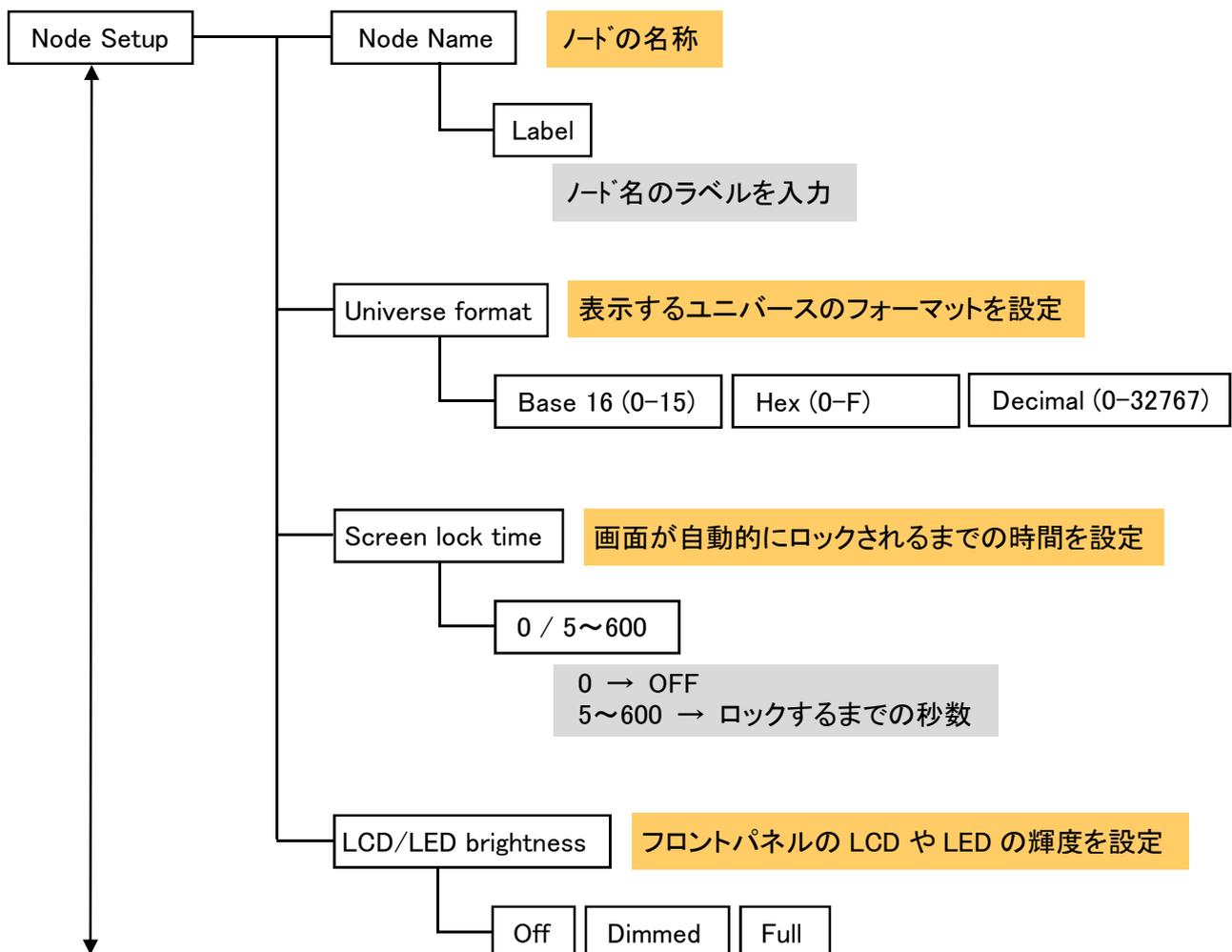
sACN は標準で Priority(優先度)の機能があり、Priority の高い方が出力されます。

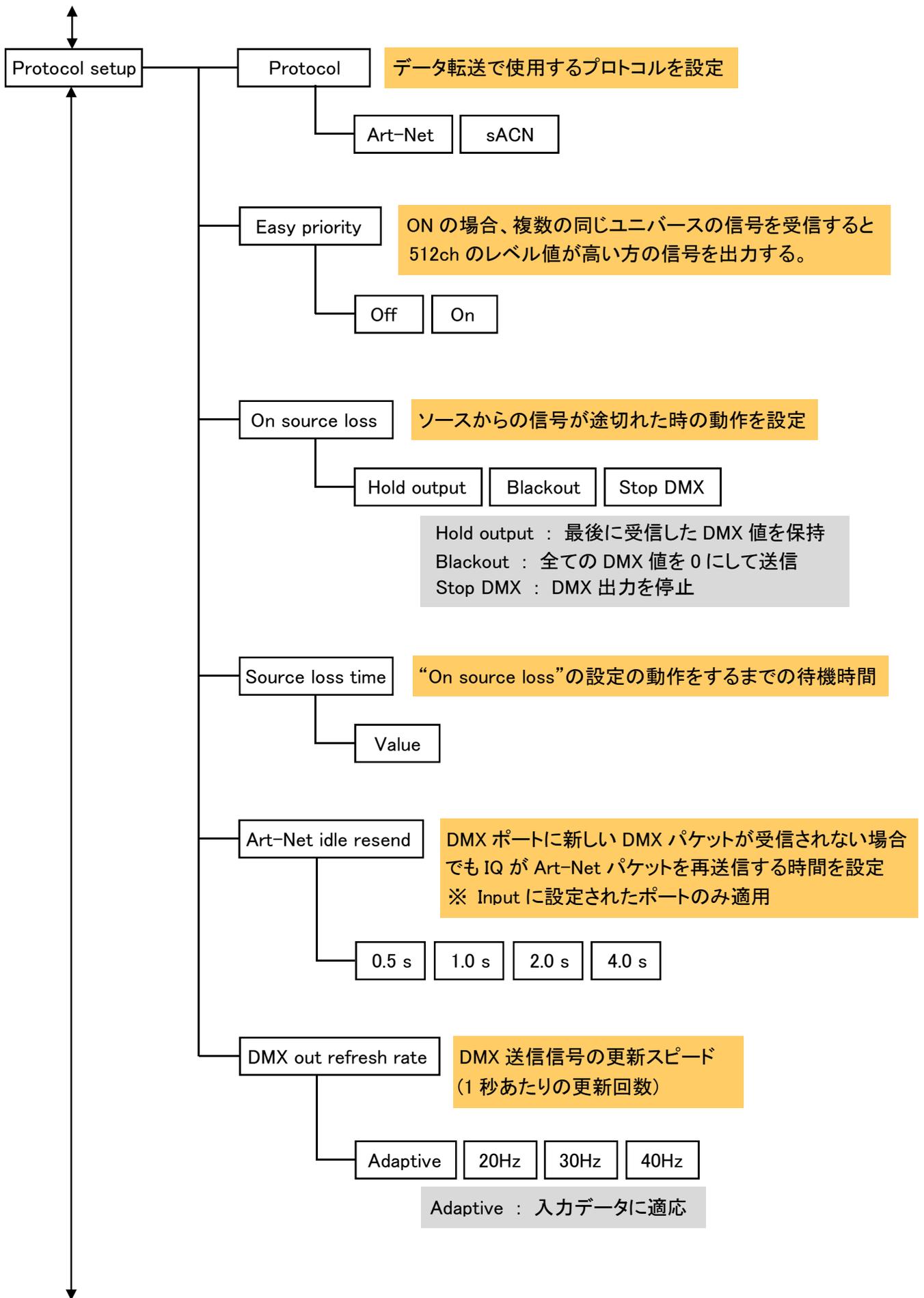
Priority の値が同じで、”Easy Priority”が OFF の場合は HTP マージします。

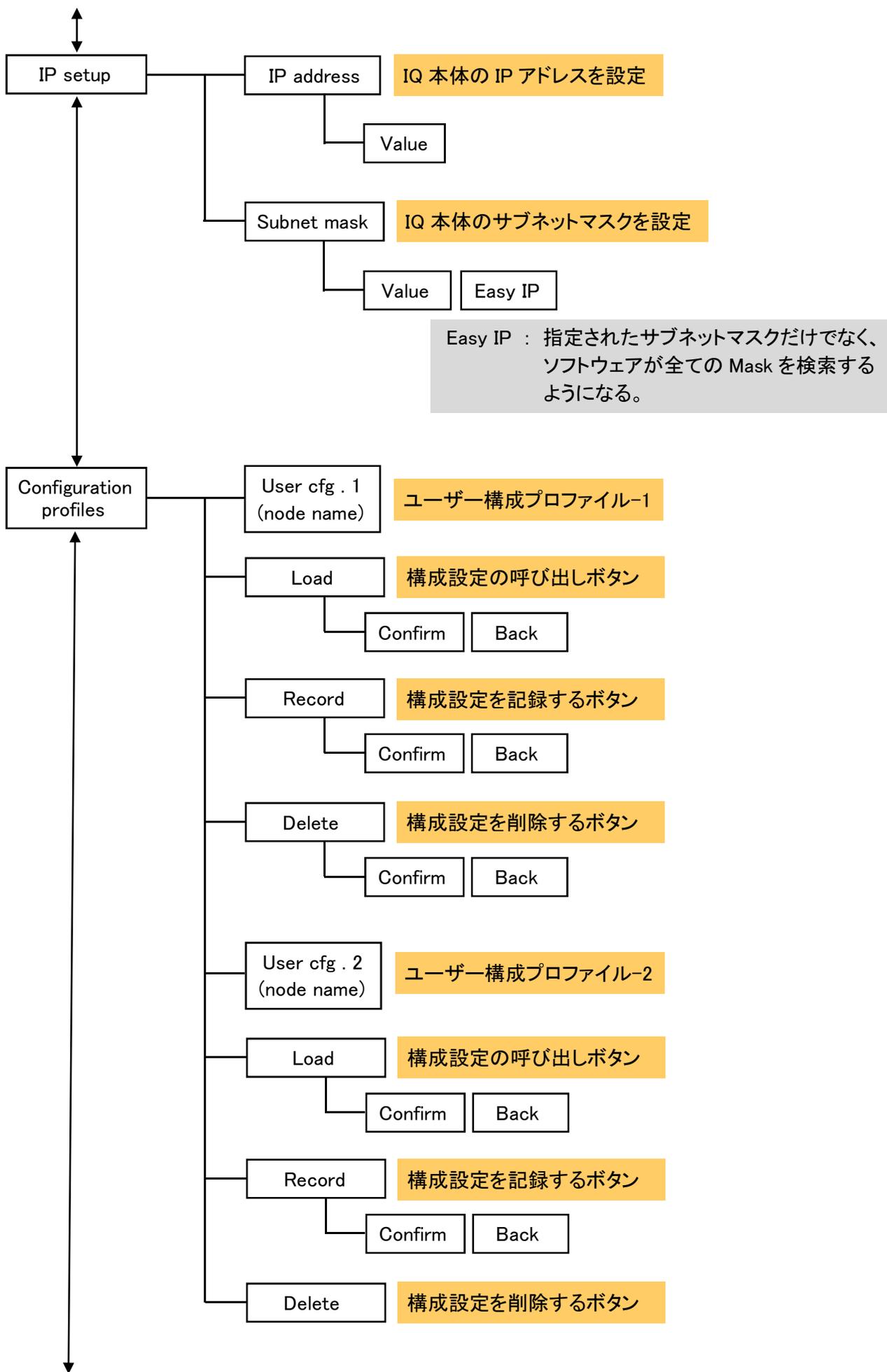
DMX 入力

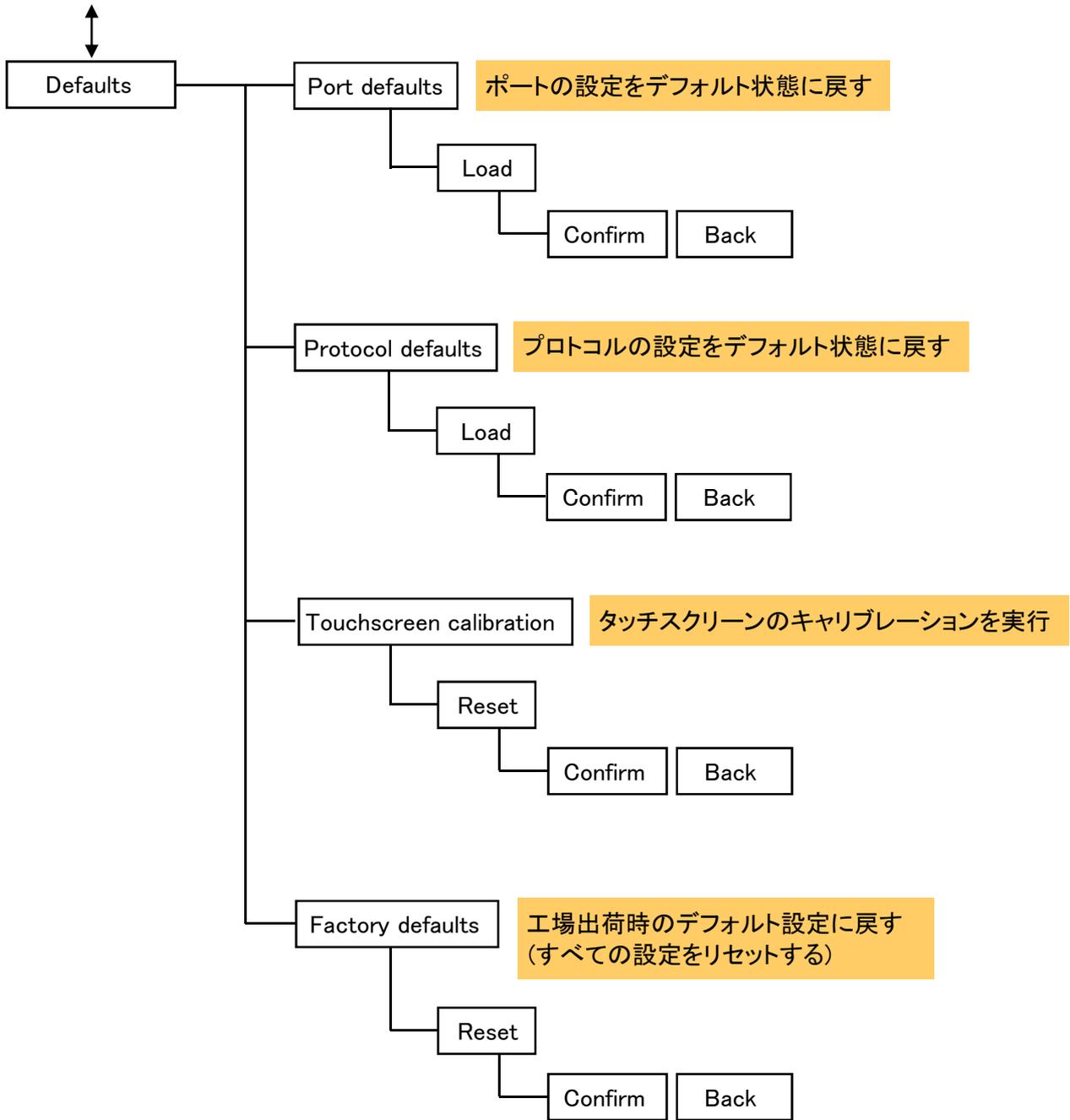
複数の入力ポートのユニバース番号が同じポートに信号が入力された場合、“Easy Priority”が OFF の場合は入力された信号は HTP マージされます。

Configuration の Menu ツリー





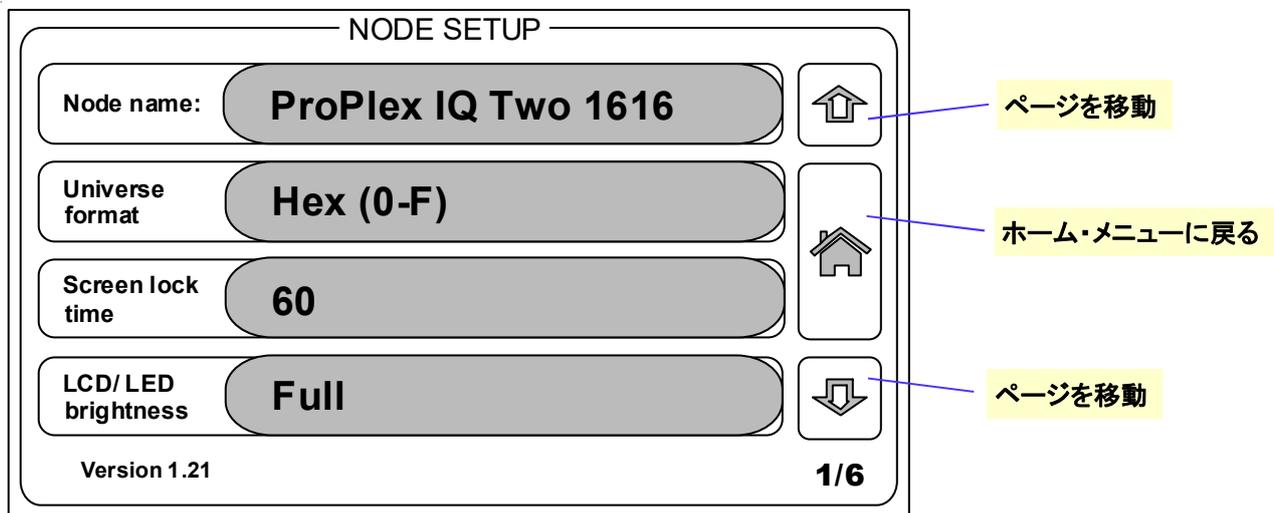




CONFIGURATION メニュー

フロントパネル・メニューの“Configuration”の部分を押すと、環境設定のサブメニューが表示されます。
全部で6ページあります。

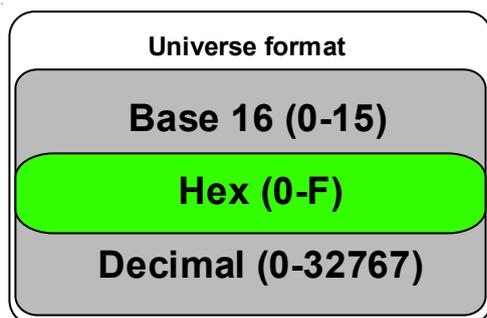
NODE SETUP



◆ Node Name

[Node Name]のボタンを押すと、バーチャル・キーボードが出てくるので、新しい名前を入力し、[OK]を押します。

◆ Universe format

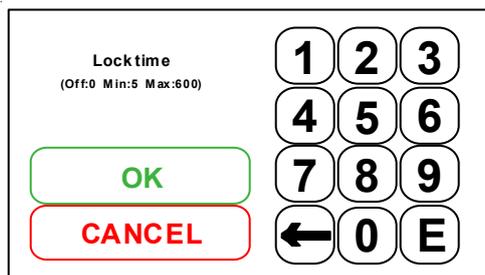


この項目を押すとサブメニューが表示されます。

このウインドウでユニバースの表示形式を選択できます。
(Default : Hex (0-F) /16 進法)

Art-Net : Hex / sACN : Decimal

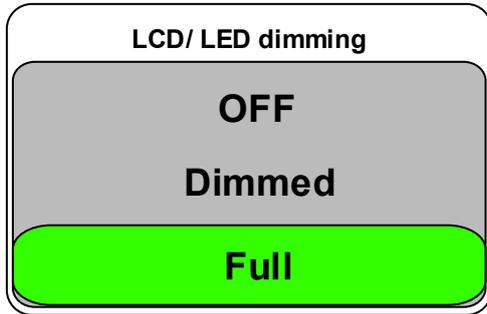
◆ Screen lock time



この項目を選択するとバーチャルテンキーが現れます。
画面がロックするまでの時間を設定します。

0 : OFF(ロックが掛からない)
5~600 : ロックがかかるまでの時間(秒)

◆ LCD/LED Brightness

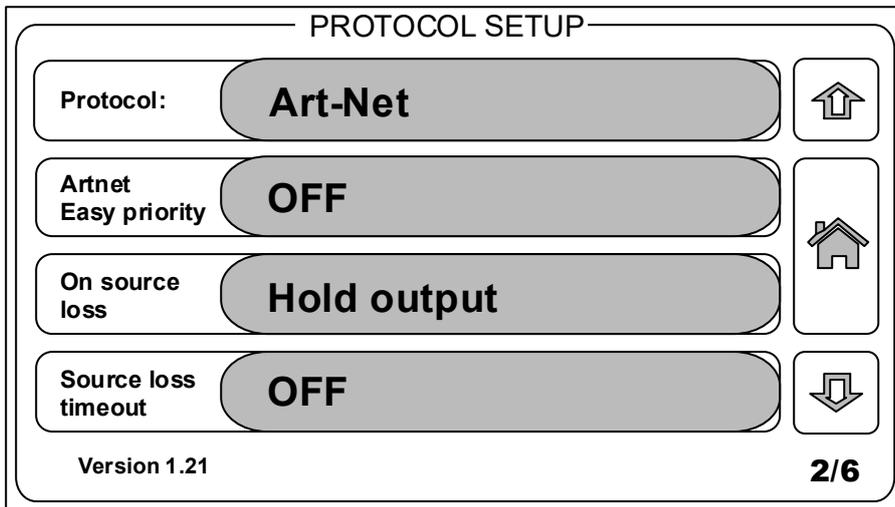


この項目を選択すると、サブウィンドウが現れます。

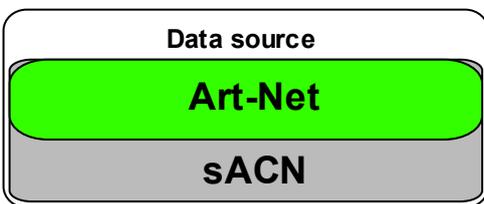
LCE/LED の輝度を設定します。

OFF : 消灯
Dimmed : 輝度を落とす
Full : 全灯

PROTOCOL SETUP



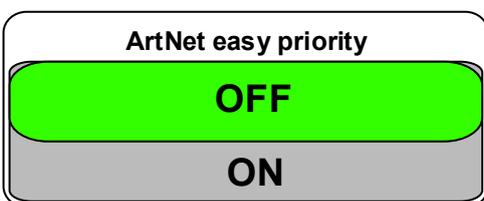
◆ Protocol



この項目を選択すると、サブウィンドウが現れます。
Art-Net か sACN の選択ができます。

sACN 選択時、Universe 0 は使用できません。

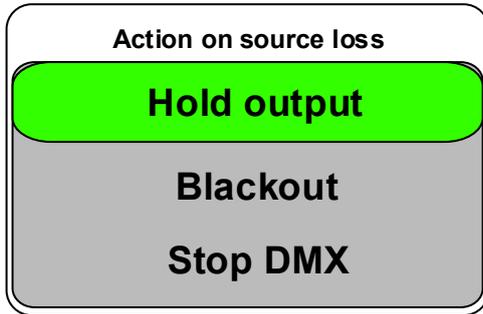
◆ Easy Priority



この項目を選択すると、サブウィンドウが現れます。

ON の場合、複数の同じユニバース番号の Art-Net/sACN 信号が入力されたときにそのユニバース番号の信号の、512ch 目のレベル値の高い方の信号を扱います。

◆ On source loss



この項目を選択すると、サブウィンドウが現れます。
ソース DMX の信号が途切れた時の動作を設定します。

Hold output

ソース DMX が失われた後、受信した最後の DMX 値を保持し、再び DMX を受信するまでこの値を出力し続ける。

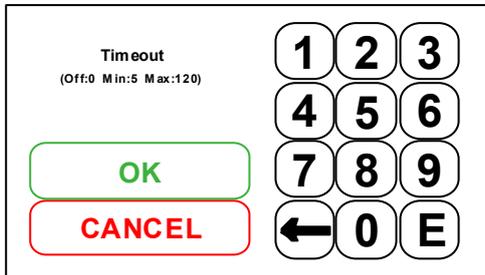
Blackout

ソース DMX が失われた後、すべての DMX の値が 0 に変更され、再び DMX を受信するまでこの値を出力し続ける。

Stop DMX

ソース DMX が失われた後、DMX の出力を停止します。
DMX ソースが復元されるとソース DMX の出力を再開する。

◆ Source loss timeout



この項目を押すと、バーチャルテンキーが現れます。
信号が途切れた時に、ここで設定した時間が経過すると、
”On source loss”で設定した動作に移行します。

この時間は秒単位で設定されます。(5~120)

PROTOCOL SETUP

PROTOCOL SETUP

Artnet idle resend time	1.0 s	↑
DMX OUT refresh rate	40Hz	↓

Version 1.213/6

◆ Art-Net idle resend time

Artnet idle reset time

0.5 s
1.0 s
2.0 s
4.0 s

この項目を選択すると、サブウィンドウが現れます。
この設定は Art-Net がアイドルング後に信号を更新する時間を決定します。

0.5s、1s、2s、4s の選択肢があります。

この設定は入力モードの DMX ポートにのみ適用されます。

(一部のコンソールは値に変化がない場合は DMX パケットを再送しない場合があります。)

“Art-Net idle resend time”により、Art-Net は値に変化がなくても Art-Net で DMX を繰り返し送信する必要のあるメディアサーバーやムービングライトなどのデバイス用に變更されていない値を再生成し、送信します。

◆ DMX OUT refresh rate

DMX Speed

Adaptive
20 Hz
30 Hz
40 Hz

この項目を選択するとサブウィンドウが現れます。
この設定は 5Pin XLR コネクターから出力する DMX 信号を 1 秒間に何回出力するかを設定します。

Adaptive、20Hz、30Hz、40Hz の 4 つの選択肢があります。

Adaptive : 入力データに順応

一部の DMX デバイスは様々なリフレッシュレート設定を使用することでより適切に機能します。
LED ウォールやディスプレイなどの高速デバイスの場合、“Adaptive”オプションを使用するとソースからの DMX 受信リフレッシュレートを一致させることで応答時間を改善できます。

IP SETUP

IP SETUP

IP address	<input type="text" value="2.145.253.116"/>	↑
Subnet mask	<input type="text" value="255.0.0.0"/>	↑
Easy IP	<input type="text" value="OFF"/>	↑

Version 1.214/6

◆ IP address

IP address
(Min:0 Max:255)

	1	2	3
	4	5	6
OK	7	8	9
CANCEL	←	0	E

この項目を選択するとバーチャルテンキーが現れます。
本機の IP アドレスを設定します。

◆ Subnet mask

Subnet mask
(Min:0 Max:255)

	1	2	3
	4	5	6
OK	7	8	9
CANCEL	←	0	E

この項目を選択するとバーチャルテンキーが現れます。
本機のサブネットマスクを設定します。

“Easy IP”設定が ON の場合はサブネットマスク設定の変更はできません。

◆ Easy IP

Easy IP

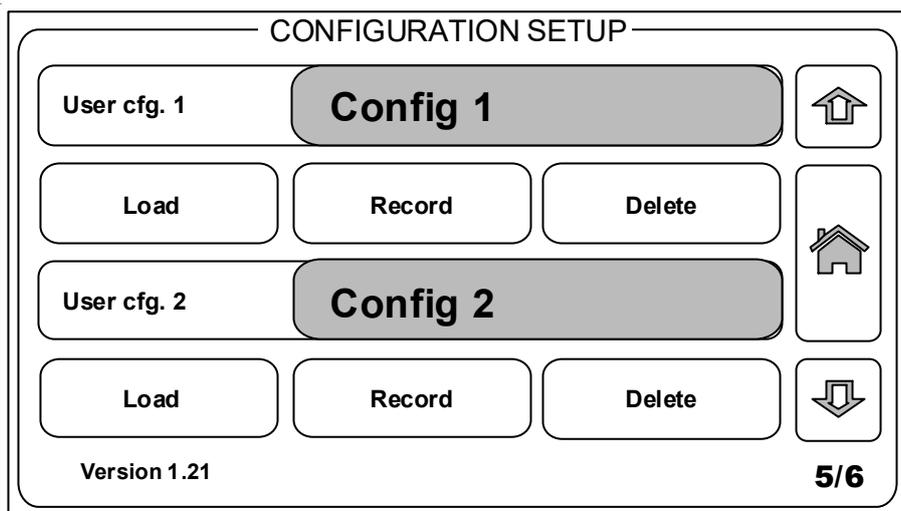
ON
OFF

この項目を選択するとサブウインドウが現れます。
ON にするとソフトウェアはすべてのマスクを検索します。
(ON の場合、サブネットマスクは変更できません。)

“Easy IP”を ON にすると、サブネット・フィルタリングが不要になり、IP やサブネットマスクの設定に関係なく、Art-Net 及び、sACN の情報を自動的に検索して出力するようになります。

サブネット・フィルタリングを使用して管理されたスイッチ・ネットワークを組み合わせて使用する際には OFF にしてネットワークの様々な領域を分離させます。

CONFIGURATION PROFILES



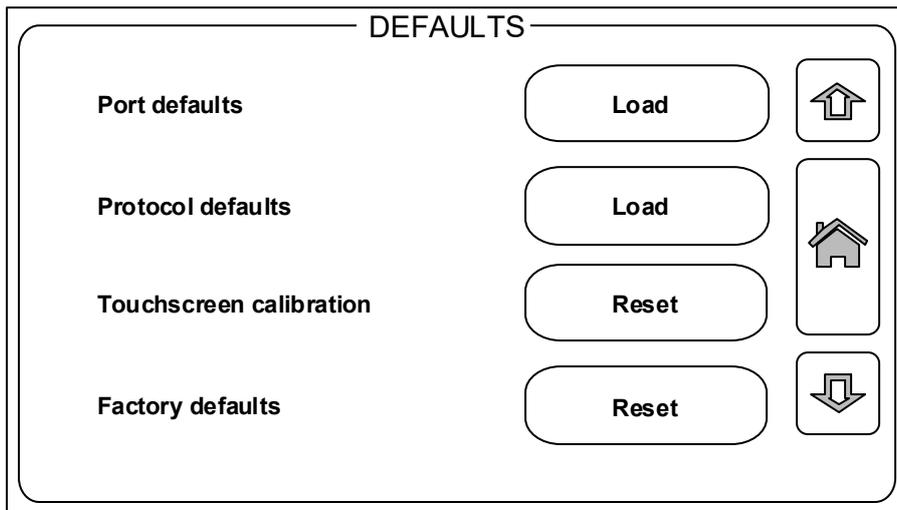
現在の構成を本機の”User Config”枠に保存できます。”User Config 1”と”User Config 2”の2つの保存枠が利用可能です。

”User Config 1”と”User Config 2”の名称は変更が可能です。

[Record]を押すと、現在の設定を記録します。

[Load]を押すと、保存していた設定を読み込みます。[Delete]を押すと保存している設定をクリアします。

DEFAULTS



このメニューで、システムのデフォルトをロードしたり、タッチスクリーンの調整ができます。

Port defaults

すべての DMX 関連の設定をリセットします。

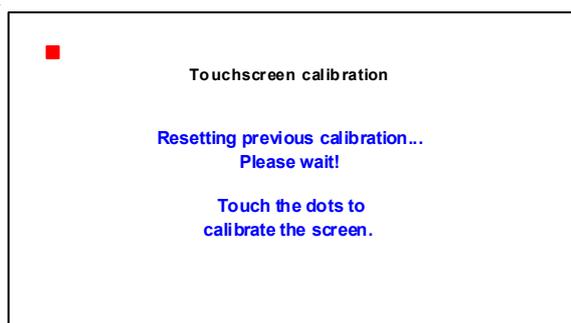
Protocol defaults

すべてのプロトコル関連の設定(Art-Net/sACN 設定)をリセットします。

Touchscreen calibration

タッチスクリーン・キャリブレーション・メニュー画面に切り替わります。

画面に従って赤い点をタッチしていきます。(赤い点は合計 4 つ出てきます)



Factory defaults

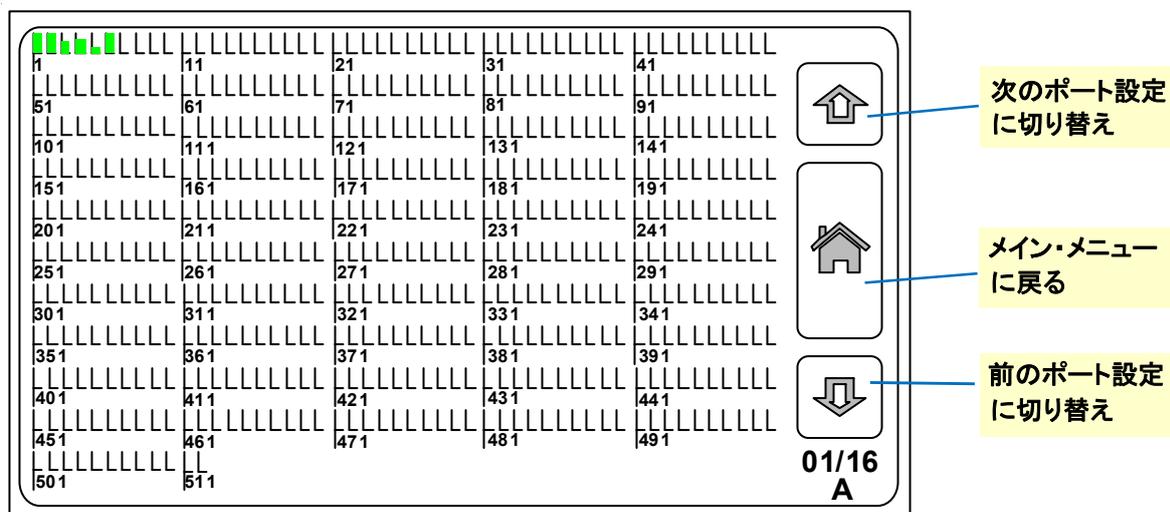
すべての設定をリセットし、システムを再起動します。

[Load][Reset]ボタンを押すと、サブウインドウが現れます。

“OK”を押して実行するか、“×”を押して前の画面に戻ります。

STATUS メニュー

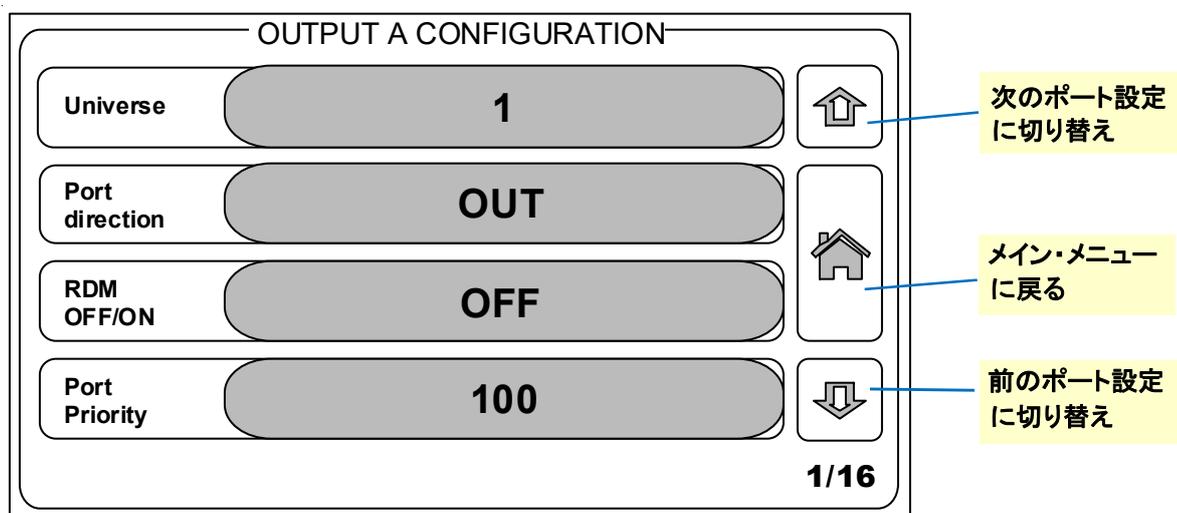
フロントパネル・メニューの“Status”の部分を押すと、DMX ポートのステータスにアクセスできます。
16 個すべての DMX ポートの DMX ステータスにアクセスできます。



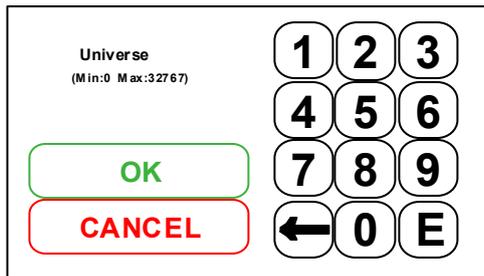
1~6 の緑色のバーはこのポートがソースから受信している DMX 信号のレベル値を示しています。
受信した DMX の値が 255 の場合、緑色のバーはいっぱいになります。DMX 値が 0 の場合は緑色のバーは表示されません。

OUTPUT CONFIGURATION メニュー

画面下側の 16 個のポートの部分を押すと各ポートの設定の画面になります。



◆ Universe



この項目を選択するとバーチャルテンキーが現れます。
選択した DMX ポートにユニバースを割り当てます。

表示は、Configuration メニューの Universe format の設定で
変わります。

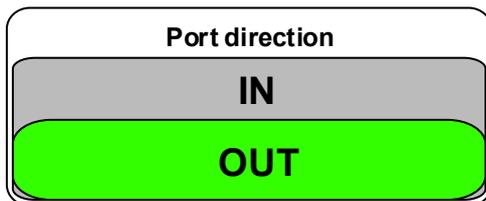
Decimal : 0~32767 の範囲の数字で設定 (sACN)

Hex(0-F) : Net . Subnet . Universe の形式でそれぞれ 0~F の値で設定 (Art-Net)

Base16(0-15) : ?

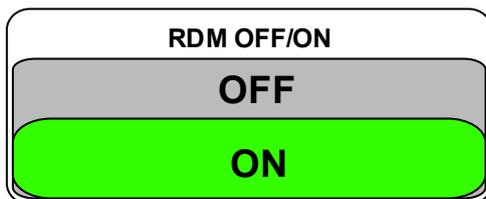
ALPHA(A-AVLG) : ?

◆ Port direction



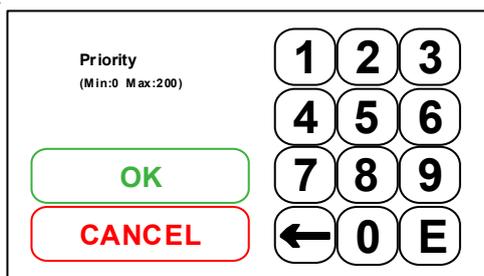
この項目を選択するとサブウインドウが現れます。
各 DMX ポートの入力/出力を設定します。

◆ RDM OFF/ON



この項目を選択するとサブウインドウが現れます。
選択した DMX ポートの RDM をアクティブ/非アクティブの設定を
します。

◆ Port priority



“Port priority”の項目を選択すると、バーチャルテンキーが現れ
ます。

sACN 使用時、入力設定にしたときの Priority 値を設定します。

0~200 の範囲の数字を入力。
(200 が一番優先度が高くなります)